

●1分で見える世界景気／2018年7月末から見た2018年8月動向

※米中貿易摩擦、米国利上げ、地政学、米国中間選挙が入り混じる中、秋まではこう着状態か！日本は景気を維持できるか！

欧
州

英国/EU離脱 交渉10月末期限

延長か？

・17年GDP+1.9%→+1.8%

・17年5月GDP+0.2% (前月比)

・政治混乱による南欧（イタリア、
スペインの10年国債利回り上昇

EU 貿易関税リスク

・2018年予想
GDP+2.1%
(5月より-0.2ポイント)
・8月にイタリア支援終了

欧州中銀

南欧政治リスク、ギリシャ懸念が残る中、金融緩和終了決定
世界貿易の不確実性に目配りする姿勢を明確に

新興国 通貨安広がる

- ブラジル/ストの影響が深刻、GDP目標+2.5%が揺らぐか
- インド/1-3月GDP+7.7%、成長加速、物価上昇を抑えるために利上げへ
- アフリカ全体/18年から19年+4.1%まで上昇と予想（アフリカ開発銀行）
- トルコ/リラ急落で利上げへ
- アルゼンチン/ペロ防衛とインフレ対策で政策金利+40%へ、効果は未知数
- イラン/17年GDP+3.5%（昨年+12.5%）で急減、地政学リスクが影響か？

中国

地政学&貿易関税リスク

18年経済成長率目標 6.5%前後

※17年GDP+6.9%（昨年6.7%）

18年4-6月期 ※%は前年同月比

GDP6.7%（1-3月期▲0.1p）

固定資産投資、個人消費が鈍化

上海・深セン市場の1-6月上場社数

18社（前年同期246社）で75%減少

下期は米国との貿易問題の影響
が表面化するか注目！

米中貿易摩擦、米国利上げ、
米国中間選挙、地政学リスク
が同居し、秋までは踊り場か？

トランプ政権

米国

大型減税で個人消費や企業投資は増加と見込まれる

地政学&貿易関税&中間選挙リスク

高成長持続

4-6月GDP+4.1%

(1-3月+2.2%)

6月雇用+21.3万人、失業率4.0

FRB 利上げ 消費者物価も2%近辺で推移と予想

日本

地政学&貿易関税リスク

景気拡大が足踏み感 安部首相の続投確率高い

・6月失業率2.4%

・6月日銀短観

大企業製造業の景況感が2四半期連続で悪化

・課題/原材料上昇の転嫁、強気の設備計画、貿易摩擦

●日銀 2%物価目標達成時期まで金融緩和継続

①フォワードガイダンスの導入

②短期金利（-0.1%）、長期金利を0%へ誘導

③長期金利変動幅は従来の±0.1%から±0.2%を念頭に

③長期国債、ETF、J-REITの買入れは柔軟に

緩和マヌケ